

## 後期基本計画 令和元年度 施策方針評価書

政 策：04 ひとにやさしく安全・安心で活力あふれるまち

基本施策：06 効率的な汚水処理施設の整備・維持管理

施 策：02 下水道経営基盤の充実

施策担当職・氏名 下水道課 総括主査 小林 純子

### 1. 施策の令和元年度までの実現状況を明らかにする

#### (1) 施策の内容

・下水道供用開始区域内の接続率の向上により、下水道事業の財政基盤の確立を図って参りました。今後も供用後の確実な下水道への接続と使用料の回収に取り組んで参ります。

・コスト縮減、不明水対策等に取り組み、下水道事業の経営の健全化を図って参りました。経営状況分析を踏まえ、より一層の健全経営に取り組んで参ります。

・技術職員等の人材確保及び育成による専門的知識の蓄積及び技術の継承に努めます。

#### (2) 施策目標値の達成状況

No	この施策に関わる施策目標指標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値				目標値	進捗状況
		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和4年度	進捗率(%)
1	暮らし 経営資本営業利益率 単 位 %	△0.51	△0.7 △0.4	△0.6 -	△0.5 -	△0.4 -	△0.4 -	A 100.0
	単 位							
	単 位							

#### (3) 施策を構成する事務事業及び目標値の達成状況

No	事務事業名 事務事業目標指標	推 移	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
1	13796 滝沢市水洗便所改造資金利子補給事業 水洗化人口 単 位 人(累計)	目標値	33,798	34,343	34,632	35,098	35,563	36,013
		実績	35,219	35,225	35,795	36,508	-	-
2	13797 滝沢市水洗便所設置費補助事業 水洗化人口 単 位 人(累計)	目標値	33,798	34,343	34,632	35,098	35,563	36,013
		実績	35,219	35,225	35,795	36,508	-	-
3	13798 滝沢市水洗便所改造資金貸付事業 水洗化人口 単 位 人(累計)	目標値	33,798	34,343	34,632	35,098	35,563	36,013
		実績	35,219	35,225	35,795	36,508	-	-
	単 位	目標値						
		実績						
	単 位	目標値						
		実績						

## 後期基本計画 令和元年度 施策方針評価書

政 策：04 ひとにやさしく安全・安心で活力あふれるまち

基本施策：06 効率的な汚水処理施設の整備・維持管理

施 策：02 下水道経営基盤の充実

施策担当職・氏名 下水道課 総括主査 小林 純子

## 2. 施策の実現に向けての令和元年度までの取り組み状況を分析する

## (1) 施策目標の達成（実現）に向けた基本計画期間内の取り組みと方針についての達成（実現）状況

B	概ね達成した
<ul style="list-style-type: none"><li>地方公営企業法の法適化より5年を経過し、継続的なコスト縮減により経営の健全化に努めました。</li><li>接続率向上のため、接続に関連する助成制度について啓発を行いました。</li><li>技術職員等の人材育成と専門的知識の蓄積及び技術の継承のため、計画的に研修を実施しました。</li></ul>	

## (2) 基本計画内の取り組みと方針のうち、令和元年度の重点課題の達成（実現）状況

B	概ね達成した
<ul style="list-style-type: none"><li>公共下水道への接続推進…新規供用開始区域については下水道工事説明会、既供用区域については地域づくり懇談会にて接続の啓発を行いました。</li><li>不明水対策…不明水流入の予想される箇所についてマンホール等の補修や、老朽管の更新・更正を行いました。</li><li>計画的な職員研修…配属後間もない新任職員研修や今後予定しているアセットマネジメントのための研修を中心に外部研修へ派遣しました。</li></ul>	

## 3. 施策の実現に向けての令和元年度実施後での変化を認識する

## (1) 施策の実現に影響する社会環境変化

B	社会環境変化あり
<ul style="list-style-type: none"><li>高齢化及び経済事情による公共下水道未接続世帯が依然として解消されていません。</li></ul>	

## (2) 基本施策との関連性から施策の見直し

A	必要なし
<ul style="list-style-type: none"><li>今後新たに発生する社会環境の変化によっては、随時効果的な手法を見極めながら進めていきます。</li></ul>	

## 4. 施策の実現に向けての今後の取り組みと方向性を明らかにする

## (1) 令和 3年度方針策定に際し、今後の方向性や引継課題

B	課題あり
【今後の方向性】 公衆衛生と将来にわたって持続可能な経営の双方を実現するために、アセットマネジメントに基づく整備計画の策定及び経営戦略の見直しを行う必要があります。	
【引継課題】	
<ul style="list-style-type: none"><li>アセットマネジメントによる効率的な整備、資源配分</li><li>将来にわたる整備の財源を安定的に確保するための料金算定に関する定期的な検討</li></ul>	

